

荒瀬ダム撤去工法等に関する意見・提案概要一覧

参考資料1

意見・提案書の総数：31件

提出者数【個人：15名(うち県内：11名、県外：3名、記載なし：1名)、企業：6社(うち県内：3社、県外：3社)】

	氏名	住所	意見提案区分	意見・提案概要
1	個人		工法	・全撤去せず(橋を残して)「歩道橋」として活用してはどうか。
2	個人	八代市	その他	・年間の河川内工事期間を長くすれば、撤去期間6年を短縮することが可能ではないか。 ・河川内に放置されている工作物残骸の除去を。景観を害し、歩行にも危険。 ・護岸はコンクリートで固めず、蛇籠等で補強する等、魚族に考慮した補修が必要。
3	個人	熊本市	コスト縮減、その他	・堤体を全部撤去せず、橋梁部分を残すことはできないか。 ・堤体を穴あきダムとして利活用できないか。
4	個人	八代市	コスト縮減	・藤本地区の国の宅地嵩上げと発電所撤去の時期を合わせることでコスト縮減が図られる。
5	個人	熊本市	工法、コスト縮減、その他	・まず説明会を開催してほしい。 ・土砂除去は不要。撤去すれば自然流下するのは。 ・水位低下設備の必要性は疑問。 ・早く撤去すべき。 ・撤去工法はゼネコンなどの意見も聞くべき。等
6	企業	熊本市	工法	・高圧水噴射による管理橋床等のコンクリートはつりの提案。この工法は、振動、衝撃がなく安全で、粉塵が発生しないので対環境性がよい。 また、自動化による作業の効率化でコスト縮減が可能。
7	個人	八代市	その他	・荒瀬ダムは水害等を防止するために造られた。ダムがなくなれば水害が再発する。 ・ダム撤去をやめれば、撤去費用もかからない。水力発電を続けた方がよい。 ・残すことを前提にもう一度考えたらどうか。
8	個人	八代市	工法、コスト縮減	・今年度から左岸よりのゲート下2箇所、クレスト部分の左右上端より緩やかなV字形の魚道を設けたらどうか。理由として、現計画の水位低下装置では流速が速すぎて魚の遡上ができない。水位低下装置が不要となるため、コスト縮減となる。
9	企業	阿蘇郡	環境対策	・天然物質を砂状に加工したものに、安全性の高い菌を培地した製品を散布し、自然の力で汚泥を無害化した上で自然流下させることを提案。
10	個人	八代市	コスト縮減、環境対策	・稚鮎が荒瀬ダムから上流へ自然遡上が不可能な状態となっているため、1門だけでもいいので、1日も早い右岸側からのスリット撤去を始めるべき。 ・砂礫、泥土に多額の経費をかける必要はない。自然流下させるべき。 ・水位低下設備にこだわる必要はない。不必要な経費は極力削減しなければならない。 ・前知事時代に、撤去は今年からと決定していたはず。すぐに実施すべき。撤去のために、より多くの経費を使おうとする県の姿勢が理解できない。
11	個人	八代市	その他	・ライフライン(道路)を整備し、住民の定住を図る。 ・急峻を利用した水力発電の開発と既存施設の活用と観光利用。 ・堆積土砂は生物にとって貴重な栄養源である。自然流下に任せるべき。 ・コンクリートは小さく粉砕し、川に戻し再利用。等
12	企業	東京都	工法、環境対策	・ダムに堆積した泥土(シルト)の浚渫処理工法(吸引・固化)の提案。泥土をポンプ等により吸引し、薬剤で固化。固化したものは土壌改良材として使用できるため、環境面でも優れる。
13	個人	福岡県	工法、コスト縮減 環境対策	・底部にスリットを入れることで、流水の落差をなくすることができる(長野県等の砂防ダムで事例あり)。騒音の解消、魚介類の往来、水位低下により、ダム本体撤去の効率化が図られる(コスト縮減)。 ・土砂は、自然流下に任せてよい。
14-1	個人	八代市	工法	・土砂除去は、住民や漁業者の意見を聞いて、その範囲や量を決定すべき(これ以上の土砂除去は不要)。 ・水位低下装置の必要性も再検証してほしい。

	氏名	住所	意見提案区分	意見・提案概要
14-2	個人	八代市	環境対策	<ul style="list-style-type: none"> 環境調査の説明・報告もなしに意見を募集するというのは、手順が違う。 環境調査の実施の際は、広く住民の意見を聞く場が必要(球磨川の環境を一番知っているのは住民)。 環境調査範囲が逢拝堰までとなっているが、海と川の関係が明らかになっている現在、理解しがたい。 ダム撤去による影響を見るだけでなく、撤去後目指すべき球磨川の再生のための環境調査を行ってほしい。 環境調査の報告書は、広くネット等を通じて公開してほしい(重要種データ除外)。
14-3	個人	八代市	環境対策	<ul style="list-style-type: none"> アユにあふれた球磨川を取り戻すために、荒瀬ダム撤去だけでなく、瀬戸石ダムや逢拝堰の運用方法を変更することの検討やその効果についての調査・検証等も視野に入れて、今後の対策を考えてほしい。 撤去だけを目的とするのではなく、球磨川の再生を目標に、流域住民参画の上、撤去計画・再生計画を立ててほしい。
14-4	個人	八代市	工法	<ul style="list-style-type: none"> 大手のコンサルに限らず、幅広くコンペ等開催して提案してもらい、それを検証してもらう方法も考えるべきでは。 アメリカの撤去事例等も参考にしているか。
15	個人	東京都	その他	<ul style="list-style-type: none"> アメリカの撤去事例のように、事業プロセスにおける情報開示をお願いしたい。 アメリカで入手した資料(Marmot dam removal, Elwha river)があるので利用してほしい。
16	企業	大阪府	工法	<ul style="list-style-type: none"> コンクリート破碎工法(放電破碎)の提案。火薬類に近い圧力が発生し対象物を破碎できる。特徴として、取り扱いが容易で、火薬類取締法対象外である。低騒音かつ低振動で効率的な破碎が可能。等
17-1	個人	愛知県	コスト縮減	<ul style="list-style-type: none"> 撤去工法の技術コンペや競争入札を実施し、より安価な撤去工法を模索し、コストの削減を図ることを提案。
17-2	個人	愛知県	その他	<ul style="list-style-type: none"> 「荒瀬ダム史」編集委員会の設立と記録資料の公開を提案。荒瀬ダム建設から運用の社会的意義と共に歴史の変遷、地域社会の変化等を記録史として後世に残すことは極めて重要である。
17-3	個人	愛知県	コスト縮減	<ul style="list-style-type: none"> ふるさと納税制度によるダム撤去費用の捻出を提案。ダム撤去費用の削減策と同時進行で、ふるさと納税制度を使い、撤去費用補填に特化した寄付金を募り、基金を創設する取り組みを提案する。基金創設においては、将来的に撤去後の産業や観光等地域再生のために利用することの明文化が必要。
17-4	個人	愛知県	コスト縮減	<ul style="list-style-type: none"> 荒瀬ダムと同様に、上流部の堆砂により撤去運動が起こった泰阜ダムでは、治水対策費用の捻出財源として、まちづくりのモデルとして、経済産業省から「天竜峡エコパレープロジェクト」として巨額の予算を捻出して対策を取り、地域振興の契機となった事例あり。荒瀬ダムでもこのような事例を参考に、球磨川や不知火海全域に波及効果のあるプロジェクトとして事業展開することで、コスト削減と事業拡大、地域振興をねらった総合政策が図れないか。
17-5	個人	愛知県	コスト縮減、その他	<ul style="list-style-type: none"> 河床データの観測や公開を月単位や出水単位で行うべき。そのデータを活用して、河川工学者、地形学者、住民等の声を反映させることで、土砂の除去費用を削減できる可能性がある。 これまでの土砂除去費用と自然流下土砂量の正確なデータを公開し、外部識者も自由に事業手法の比較ができる環境を整えること。 現状の自然流下について調査を行い、撤去費用のコスト削減を随時行う作業が必要。
17-6	個人	愛知県	コスト縮減、その他	<ul style="list-style-type: none"> 撤去計画の策定に影響を与えうる形で住民が参加できる事業体制をとることが、最終的には最もコストのかからない手法となるのではないか。
17-7	個人	愛知県	その他	<ul style="list-style-type: none"> 研究委員会の公開手続きが不十分。配付資料の即日公開と議事録の公開期限の設定を。配付資料は、24時間以内にフルカラーで公開し、議事録は、1週間後には公開することを提案する。
17-8	個人	愛知県	環境対策	<ul style="list-style-type: none"> ダム撤去が、八代海や球磨川流域にどのような環境変化をもたらすかといった観点での予測や調査が行われていないのは不十分。これを契機に、既存資料の取りまとめ、再生するアユの産卵床や生息域の予測データ作成等を行ってほしい。
18	企業	熊本市	環境対策	<ul style="list-style-type: none"> 水質浄化剤の提案。溶存酸素の少ない場所、水深の深い場所等でも使用でき、一度に広範囲の水質浄化が可能。
19	個人	熊本市	その他	<ul style="list-style-type: none"> 球磨川水系全体で見て、荒瀬ダムの存在は小さいこと、同ダムは発電が主目的であったことを考慮すれば、撤去した場合の影響はその周辺に限定されるのではないか。 巨費を投じて撤去するのであれば、球磨川水系全体としての環境面、経済面、それらを総合した費用対効果が予測されていないと意味がない。 撤去が避けられないのであれば、幅広い見地からダム撤去の功罪を検証すべき。
20	企業	東京都	コスト縮減、環境対策	<ul style="list-style-type: none"> ダムに堆積した泥土(シルト)の処理(固化)についての提案。再利用できる土砂に変えることでコスト縮減を図ることができ、また、環境対策としても有効である。

	氏名	住所	意見提案区分	意見・提案概要
21	個人	水俣市	環境対策	・早くダム本体にスリットを入れて、生物の遡上、降下ができるようにしてほしい。 ・堆積土は、自然流下させることでコスト縮減を図ること。 ・生物の往来が戻れば、アユ釣りの観光客も増え、地元経済にも好影響を与える。